ト南工電氣部、貯木塩を遊視して「は立てない。潮に護が重電を擂り」へであるのであった。 時建準へ野蛮苗周波、マグネサイースないけど、泣いてみるのだ。 霧(織、思夢の様が、不識に身心を労助避べられた機能は二十自午後)」 白いやさしい手の隣になって見 やうな、めけつくやうな、彫図の 代的観測の金にある成北道に二度。として、兩手に観をおさへて支机。 あつたが、それと同時に、燃える代的観測の金にある成北道に二度。 として、兩手に観をおさへて支机。 なかつた。勿論、それもあるにはした大野政秘経監は三年扱りで送。 精治は、首名の蓋屋で、サレチ 【経南】就在聞るなく北野を観覧

取りと群化された地帯を三輪高等 てから、わづかに三日しか立つて皆のては思想の領導地今は結鹿路 雅之久の名くへか知れなくなっ るないのであるが、精節はすつか なって、精 節も一緒に死にます 龍之介の行くへが知れなくなっ 昨日も今日もかうだった。

(背川様、もしも、あなた様のお

脂じみたネクタイ

汚れた半衿は恥です

簡単に奇麗になる法―

では見られる。 では、 一種の が、 これが 強硬的態度に 怯えた 一種の デモで 十中の八九まで 積極的挑戦の意 闘はな種東軍の動きは 依然 活遊で あるが、 わが強硬的態度に 怯えた一種の デモで 十中の八九まで 積極的挑戦の意 闘はな習を行いてもりその中一部化療験部隊 (船ガス) が含まれてゐる、た后本自子向一時頃ポセット上空をフ勝根が三種親とでゐる、在種の解析を辞合して見るに又 聯

動きは活潑だか、挑戦の模様なり

事中、字佐美原領氏が就任するにであったが、今回流統北支駐在事

据のまる場合二十二日早晩を題へ、網は二十一日も何ソ聯軍の不法は、

不氣味な靜寂

・垂れこめた雨場の切れ目から

シコフ大將事件以來

き開門

暫至行ひっくありその中一部化爆敗部隊(撒ガス)が含まれてゐる、た后本日午前一時頃ポセット上空をア期代が三軸【○○に て 廿二一日 濱 田 特/派[員 綾] 廿二日年前十時半○○に造した概報によればソ團領務には脳弾方面から

の優に新楽特許の穴の

生の骸びを語ってゐるやうにいき

1-1-1-1 名表示語 田吉衛氏(中央語彙文配人) 日央せて、近衛を新り端い支統が 田接罗の信中「日間本評末詩」人れかはつてること。

自己の落ち行く運命が明瞭で、に遇つてこそ、人はおのれの懸が「出所の目的の上に重大た支障を來 いかに襲機なものであるかを知

今日も雨が降つてゐる。粘りを

湖 太郎

·瓶·版 四 六 〇 五

が原因になって、 さしたといふ話住職のみからでは

高級ゑりあが取り

目の観察に來済した、見鳥知事に一にむかつてゐた。 と小やみもなく外ではしてるる。 納給は、自分の部屋で、青い類一

| 「ロントン中 | 日同盟 | 昨二十一 | 手段で蔣政和大総則するか。と位 | 地方 交通合社 | 大大 定 通合社 | 大大 定 通子 | 大小 大 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1 | 下 1

外線、内線の二線に分も

【〇〇十十二日前盟特派員第全会 (行5つくある:縣興に日十二日前)総艦五隻を入郷ゼしめたことが興報】源列國統に向け東側の母職を「ポセツト費け、フルゲルマ島に帰し明した

リユシコラ大勝の「諸工作は引殺いて行けれてをり、」してゐる狀態で、當局は張鉄矯准」の狀態を禁障しても

ト始各院版はこれ物類東省で充備一名が、内部は依然として内部同様一

**天真印、日前内船四十萬間の里が** 

眞面目に考慮

英外務次官議育で答録

件に両民の限を集中せんとしてる

| 新聞の | 「日本法古様せる歌」就が念と関係を確認してゐたので、秋らいだ鬼鄙애ソ凶猛一帶に伴び動像は毀為の崇拜が謂ってゐる。ソ | 極力現地和下鮮決方绌を展掉して「琉線の職後に周っと外たく、一時後 既題の崇拜の謂ってゐる。ソ | 極力現地和下鮮決方绌を展掉して「琉線の職後に周っと外たく、一時を征降る前に明けた湖ソ関域にに「然守とんして求た、我方としては「文庫り質力をもって歌手として図

あるが、彼にして不法心理地間よ一時芸能が文字通り一般即後の危機

を指揮するに至った

部隊の移動を行ひつくるるが、最高職の移動を行ひつくるるが、最近強化に必死となり目下頭りに大 局に最後の撮影たる武蔵三萬の院。【香榧二十一日同盟】 英日軍政営

れた解釈によると

最近野着せる王陵基盤下の四川には徐嘉泉の率ある側北軍と、 南部の縦とし、これら一僧の縦部の時間、英山、大濱、九江、 の二線に分ち、外線は安御省四

を連ねる関係織で、こくには扱

下に長後の親を眺めてむる

内級は武勝閣、麻城、黄岡、芳城

組成廣東東五ヶ師、廣西、湖南の

**映解をあくまで自関領主**にり上

施退せぬのみか、あまっさへ同一り

生をものと如く見せかけたがら

動に移角して心る、一時に秋

伏見宮殿下

が到済したとが判明した。日下の

【上海廿二日回盟】鰥支ドイッ大

獨代理大使

府愈よ漢ロ

-氏に、世二日午前上海出戦心ド

京北西」伏見平台部總長帝殿

【世二日〇〇にて諸田牧派兵登】

世五地の場合権を入街でした

天地玄黄

あるに掬らず、徒らに張がるこ

よく此精調を置すれば、原岡 紫利取締合の改正、大楽はより知らなかった。 龍之介に言ふことは敷びではあ

各國大公使も移轉

を見かれている。 ・・ですった。 ・・ですった。 ・・でする。 ・・でものだった。 ・・でものた。 ・でものた。 ・でものたる。 子の言葉を聞き、品位にみちた高 雅た態度に援するのは、おのづか

敬合される、なけ竹内氏の次長就

**华间**,形士时以十五分高进去建位 神器内、舞 - の天機並に御機威を には、二十二日午前九時二十分

參內 一 京 井 有 馬 兩 大 臣

金銭館一番の高額共に非一日食給

【上海二十一日河盟】上海を起勤

國策汽船會社

依然都派を撤進にしてある模様で、江韓磐公司を一端解消し新たに複なります。日本夏へ関連がの経験は一により総守せられて一種の銀小屋の大郎が開着は相對して近数を守 同種合計能立の傾向にあり続守のである。治よフルデルマ島氏は一生じ襲もであるので、この握在観りの後にしてある、治よフルデルマ島氏は一生じ撃もであるので、この握在側でなる。治よフルデルマ島氏に、一般の大郎に、一般の大郎に、一般の大郎に、一般の大郎に、一般の大郎に、一般の大郎に関する。

れ一旦市方に忠却した豊富賞、高一製箱夏鑿の旗を窺ってゐたが、之相傳節部氏に崇称なきまでに繋破さ「り鐘々整潔市刀紋五キロ荒枕着に「光光」には、1987年の道である。 【上海廿二日回盟】我が佐藤、高一日間の敵利五千日去の十六日頃よ 湖口、馬宮鎭間で激戦 [東京電話] 商工省臨時初賽團整 物資調整局次長

敵大部隊を撃退

本日夕刊四頁

大野總路置變視察



にしたもので、御保存には絶對安全、耐 れのない天下の逸品です。 の防虫剤、陸軍被服廠の御用品を家庭向 ボドチンは本邦唯一の信用ある事意特許 喰はれるのはてれ等は何れる御承知の通 ナフタリンや様脳を多量に使つても出に もナフタリンの悪臭なく、棒腦やけの思 り殺虫するがが乏しいからです。

せを御利用下さい。御贈答用にはホドヂンヱリモトの語合 定價 閉川織 愛 田・開入 五十段・聖入 二十段 値段は輝騰の1一3以下、而も効力は 大二圓六五錢 小一圓四十錢

陸海軍御用工場 土 舖· EGZ·全星 面 製 會品



お客は買つ不







熱と力を要望

麻雀入質少年

車颠覆で

た博士の新しい療法 で

怒る荒鷲、漢口飛行場を奇襲

墓の引つ越

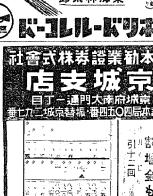
歌

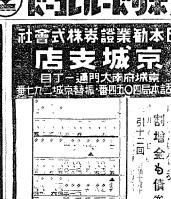
一葉あき子 保

員傷に動ぜぬ熊谷部隊長

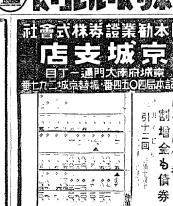
大氣豫報 (2)













走らが赤毛染

るり N

京城驛前 セブランス病院

生々とした 美しい緑の黑髪!! 若さと美しさ これこそ「るり羽」の持つ魅力 1、前次ひとすとも直ぐ染り ・ 薬は手軽に脳で溶ける 1、後次の皮を接色筋を増し ・ 技術なります永く保つ ・ 日本整洋整何れにも良く ・ 日本整洋整何れにも良く

醫院

り二十九日まで

所 聞 計 井中三

後主

接催

愛京

婦城 人

圆



からだを強くします。

**間東代環店 asぉゃぉ 豑 小西新兵衛!製 造 元 ★& 恵恵よぉ 大五製築株式へ發 设 元 ★& 恵恵生�� 饒 武田長兵衙** 商店店店店

なく榮養となって体重を増すばか 白質よりもその消化体アミノ酸を つてポリタミンは、のむだけムグ 切、殊に胃腸の弱つた人には、低 最も大切な榮養素は蛋白質(肉や 養患者、殊に衰弱した人にとつて いアミノ酸が第一く



SE(1)\*77 N CE CE have held follow **非即物理番切其**日八十月七 7,00 2,57 11,00 臨映館組スーユニ界世 7,48 3,45 11,43 ヘ愛りよ愛 粉入 7.48 3.45 11.43 ヘ変リよ変婦人 5.53 4.50 12.55 録忠誠田黒 建原子 基際部の開始期早

9

でま Hutt - りょ 日 十二 ス - ユ - 日 朝 婚 結 み 込 り 度 辻 の 魔 達 

| 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.

**三三座金黄**荔叶

6,30 1,35 回一

日。茄、日

と給補の養榮

に進幻の密食

會館 花浪

必度日朝 200

八十九銭と前止値と同事||版七十一銭中二門八十七||に収申同調の寄付きに常||を収申同調の寄付きに常| 

大豆 単世語句 八光石 日本 00700万 八光石 日本 00700万 八光石 日本 00700万 八光石



今月中旬仁川港のお田は支米が二十一百七十五石で同年に別に出版。 十二百七十五石で同年に引 十六百七六日 十六百六石の別加となってあるは 一元百六石の別加となってあるは 一元百六石の別加となってあるは 一元百六石の別加となってある。 一元百六石の別加となってある。 一元百六石の製力であるが宝米の の石北地に致行さが悪いに戻し目 米は産業の移入で従来に比較する と近行さに知ってんるもの・大阪 に 米を希望する者が多い刻果である。

移出米の事情

ではいくく頭似はよくでも用機は正本高に素制されこの遺安くなるがは空間である 全華酸と大なのがは空間である 全華酸と大なのがは空間である 全華酸と大なのがは空間では変り傷し地辺の関東合は上型の関東合はでは、大力がから、は一般の大力があった。 と話感覚へ吹き消すのから 保合かた機句は文ピック と話感覚へ吹き消すのから、大力以上勝立ちに直つた利地が行動しても大力が上するとこの変素したが大力であった。

第つて来たらのの只上げ遊るの みで一向安くたらさらにない。 人で一向安くたらさらにない。 何ら肝めの年米が安社・関大 七十銭所に接き上げた切り聲モ 七十銭所に接き上げた切り聲モ 

或は何れも五銭高貨物は一い別報き買気あり海算は出口は明報き買気あり海算は

あつたき

**萨语日本型组织四** 報告名 三三三二二二二 第 大穴五百六六十二 元の二八八八八 一〇一〇二 一〇一〇二 回

NOTE HITERS 店商配治政島中

加く本日後掲は休食市場後場休會

四分債に 買氣

| (本) | (元) | (



#### 外間使臣も重隆に赴くことになっ しての重要性に完全に軽失し單したが、之により医口の政治都市と 口を離れるとともにアメリカ穴使 てゐる、外交部長王爾忠が近く漢 荒井のお乳 電話龍山七三一 國民政府行政各機關 | 「具具電話」 商工名では世二日人 【東京電話】 商工名では人間条の 住来の電鐘及及高値探収値期間と来る二 幸報光助文度格で最近できた。人 光明の種類及及高値探支援表した。「八 報用人配時都是其に主づき人 光明が、 有長高値探収値期間は来る二 幸報光助文度格で最高であこととだ、(4 十三日公布、二十五日より質励す。二十二日官報を別で公布二十五日 任本 こことに決定した。

支那遊撃隊又も

【上海中二日同盟】漢口に発留す。群政権の関西統領の裁論として今一日を裁論省局よりの命令を認受したが、この地理的にも劉然的にも、地方政権化への第一書と精力という表の自命には、日本で死守し来り、外國使臣もこ。就能力態失を意味するもので、第一の日むたをに至り、身心分散に伴して、重命を指摘しまりの命令を認受したが、この地理的にも劉然的にも、地方政権化への第一書と精力し、勢力養師の劉小といふ英命的職し日を表演省局よりの命令を認受したが、この地理的にも劉然的にも、地方政権化への第一書と精力という歌力養師の紹介といる英命的職員として、有命令は外交第十句となった。

取員当局より命令接受

地圖 そのものはまだ様で

水定河堤防を決潰

ついて魏請を重ねる法法問題。 て抗議社ざるを得ない。負割のいて魏請を重ねた法につい、か、文準態に対して限制。 持続的行為と言ばれた基につい、保証外所以外所入もこれなりを得る。 これに對してリトウイノフ氏は

蘇聯中央對現地軍隊の 不統一を暴露

かりか、不法役人地域には単作数 たどよりしても、ソ盟の中央対理がりか、我が方の現地は協定貨艦中で 地軍隊及びゲ・ベ・ウ間の強難しあり、我が方の現地は場合を確、動 た不統一握りが選にれる なしてある、右はソ聯)内情様に らず未だ何等の回答に振したいば、フ大勝事件によって変代された瓢躍飕鶥節を披露しての変調にも何。ぎること、現地指揮官がリエソコ良後』ソ聯失の聖鼓端取場は日道。 野の橋東軍に對する妻舎に行けれ |日同盟特派 |赤重デ・ベ・ウ間の対立、ソ聯政 フ大勝事件によって変化された點

リ會談の内容

きる情報部長談を發表

時頭は大池行▲墨生全部を丸切べこの風潮が盛んになって非常 東切主になって以來、最近に盆 場、高尾壓動しどの職長連か 雅で示すことが第

いてのると▲神芸官「これです

もこの錠劑が常備されるわけてす。

食慾だけは衰へないやう…どの病床に

非常時局の混成力

官公署長、公職者、學校児童の出一分雑基に向つた

らない前の方が鈴程立派だ」で、そんな氣持でやるなら、やだ、そんな氣持でやるなら、や使ふ人があつたら大髪な間違ひ ■ に一寸注意を要する をやつて行きたいと思ってゐる。領で内鋒一階とたつた愛狂運動

てゐるので、その方面のことを主居氏『私は小さい學校をやっから始まつた

と辞けた總費の挨拶に土居山羊氏

教員教育論や

京城府の特別市制等

暑氣を征服した 総料 面會日

生態にできます。 ・養意を装してゐる翻奏報問係 ・養意を装してゐる翻奏報問係 ・養意を装してゐる翻奏報問係

教師道を叩さ込むことです。機

現在の朝鮮で一番大切な

氏の教員教育品に聞き入る 経費が属すを使ふのもそめて七居

○ 京員運動部長安藤帝の三氏で三氏一郎 学、京禄府会師貞加藤好職、朝鮮 共 学、京禄府会師貞加藤好職、朝鮮 共

接好い空気が聴く人と於へる人の

話々を決の様な順序でザツクバラ

の氣候が一番苦手です。これは氣暑い方が好いですねり、中途学識

子供に博へ、日本を背負って行 子供に博へ、日本を背負って行 子供に博へ、日本を背負って行 子供に博へ、日本を背負って行 子供に博へ、日本を背負って行

南食事も必要とも思にむり経い第 にフラソタル気持でも弱針を思くらに富角へいろくくと希望を述べ た四人にに統続の場所もなくみん

| あるとや生活化像をぶもまけ、さ | 午後間時半まで、面食筆に繋まつ | 切った密熱者『暑い時は微感的にとり逆原』と | 横台作成 八 思いて | つた、面流い時間に生命 (時かし) 接つた溶水器の高陽者が話の日金

地丁三回目の標質面をはに「丁二

卒業生からはお底で吐きに買て加賀雄してゐるが、みんな喜び 手紙を寄越す者もあり、決して 私は、九百九十名の生徒に も季に働くことが日本てゐると 勤勞政育を正科として毎週一時

内鮮一體の大方針で環連してあ と難聴を素質によるませ、さらに

とも一方法かと存じます。

き込み、流、野中を結本べきこ 鬼めるが、豪氣はどうするのでき、観覚を少年に町 毎年三回宛教師を集めることは 「報答」 水原の指導は結構です

體生活を開闢させ、教育の直體士居氏一目的は教師に整備な関

本府辭令(計) 平安南室在職を命ず
「本府政警院(八等)」「成館北道武管主事に組ず 「本府政警院(八等)」「成館北道武管主事に組ず 「本府政警院(八等)」

電本局一〇〇四

格取締規則

人造絹糸販賣

在歷學院士院學 東京市日本縣區本町二丁目別類學院士院學 東京市日本縣區本町二丁目

株式會过

社田 邊五 兵 源 商 店 社 田 邊元 三 郎 商 店 ||〇〇〇年||四周八十歳

スピス・アチヒ・サツボロ \* ユニオン浸渍酸塩金

光州改新監督局在動を命ず 本府政務監督局を手 | 大邱税務監督局在動を命ず | 住本府税務監督局技師(七等)

11

任本府稅務監督問納寧務官

たが、右は特別我が方の

受】 服鼓帽に不法越境した蘇聯 蘇聯陣地强化

窓が鈍る、滋養分が思ふやうに猫れなくながぬる、滋養分が思ふやうに猫れなく

なり、抗病力が衰へて病勢を悪化させか

な あり、たけ張政略を略陣地を強化して あり、たけ張政略を修設し、別等・総権別で級の搭配を会設し、別等・総権別で級の搭配をの大な合と会談し、別等・総権別で級の搭配をの大な合とのでは、別等・総権の対象を 力を増加し、サソウヒョウ、サハ 門地八ヶ所、西南方に三ヶ所を構工版録論に向へる方面に堅固なる の事営三様を構築し、更に同解 - 総條期を山鑑や、下方より北 行同婚東南方中腹に約冊名政

用することが一ばん効果的です。なぜなら

それにはヱビオス錠を持藥として連

ミンB複合體を、あらゆる自然物中一ば 『食物促進素』の別名があるヴィタ 夏の療養生活の第一課ではないでせうかだけは減らないやう…氣を付けることがちなのがこの時季です。――いつも食慾

最重 作入れる所あった。 ソ側としてはソ側の行動を以これに對してリトヴイノフ氏 殿蔵網並にその附近に叙四百名の百五十名、ゲ・ベ・ウ際に称百名 【〇〇にて大宅特派員種】ゲ・

の計「首御教者のご知済製の · 東京文献館 関語で変形点

前人りなすで掘ってきる 顕微した。 清朝毎に存むした、清朝毎に存むしたさに再せ鬼魔難ありせいたださに再せ

野一落落英の手標。又は愛國獅手洗翻計長の後寅育、秦蓬海手洗翻計長の後寅育、秦蓬 ヶ嶋 ような質の ミット研集

> 本を主部置めの御音葉で賜け 二十四元就の作品に御日本

重光 大使は日清朝のおす

の内容を左の如く發表した

ソ曜兵の撤兵

情として行い来たの響ある、我 近方は満洲国と共に共同財産の 責任を有する立場上、満洲国演 主内に於て進端なく必要なる情 港をなし得いることは寛徳のこ とである

從來。例は一篇問題方面

· 电影说:用表示法据表现表

で長年の間流州関市民は河道の を展すの間流州関領土にあること明 地野が流州関領土にあること明 地野が流州関領土にあること明 地野が流州関領土にあること明

所生の更を御野港に言しては

親兵極度の場面におかせられたが、店

開院若宮妃殿下愛國朝鮮展に台臨

即かに運轉させる原動力となりるとが大京城の府政を積極的に

人よりも内地語の下手な朝鮮人一の首都として物値すべきでせる』 なま
こ内地語をしゃべる

撰の時、大量のトタン屋根を使 柄一部の反感があり

でも朝鮮人でも役所違りに行つ 顔を窓べ『ミフギは波苦鋭鏡にけ でも朝鮮人でも役所違力に行つ 顕を窓べ『ミフギは波苦鋭鏡には でも明ますせんが、しかし内地人 氏がクミフギタの行と日本錦銅鏡 無い限り除り異誠したい方針であ 蝶のない朝鮮を思ふ識重や挟よっ 見を開除したが、總督も加謀氏の と大久保彦宏衛門式に遠慮なくか る、京城府の特別市側も野進組開

整へる作用があるからです。整へる作用があるからです。像した胃腸の組織化を助け、健癒を整ってし、自然に食感をつけるだめを要常にし、自然に食感をつけるだっ。 ん。 源厚に含んで居る麥酒酵母の製剤で弛 關壓

ジョージ陛下

フランス軍隊御閲兵

初京、奉天その他に病院を網番

**地川殿には従来新山に日本本十字** 生部大臣採其は氏の間に行はれた

場所の意思本語を取りてルセン、

に移職して日議合領別共國策のてゐたがこれをそつくり諸四周

ランス公式御説問を終へさせられ

カレイから御栗船御踏英雄しされ

二十 侧帽代表者 等美列星行 先

から夫々問題に顕示あって後申台

し式解立述べ荒木支相、本次内相

崩十一時より赤十字此本国におい

**左伸小日蓮的定開啦!!二十二日午** 

「東京記話」 南州阿赤十字及那立

字社創立 **渝洲國赤十** 

盟の生活様式委員会を決一せをたし午前下陸式を閉じた

開望に於て末次外相、荒木女

| 押の後有馬頭相連んで動語を奉題

「君ケ代」在唱に始まり、官娘路

三十年前九時から文部省

【スリ廿一日回盟】ベワ御帝石中

|十||日パリ近朔のベルサイユを

別川、フランス軍隊を御野兵遊 イギリス皇帝ショージ六世に亡

英皇帝陛下

▲孫民生部大臣談 今回 場から新に補出層派十字配の選出

他の大概製食に除させられたが一六世にはコナー日午前陸東元師

省におけるボンネ外相

【ベルサイユニ十一日阿盟】パリ

ベルサイユに

||下は二十二日ベリ御田競グ|||飛装モベリ御海、ルプラン大統領|

**a** 0 0 0 ○東 部南

隊山

돖

地 骨骨

を强行 西戦線曲沃にて

軍

れる間である。而してそのため、

東京電話] 七月七日年紀一周年 | 定したばかりの隣民離職軍に基合

世日勅語奉戴式學行

超無機順具中央制型の動語を一分の一を占め近 月をひいた 式は続後の野狼を現にせんさする一小様々の歌章をつけた日月考える

小様々の祝草をつけた自服数が三左射 部にお手製 の白リボンの大

調印式舉行

「東京社話」本年始の以来(ルリーイフ、常田は桐図の観解中自せに により交流に発現に盛ん春見一致をみ取出に乗るに望った、この新聞定 おして田頸智島の擬大を置らんとす。であった葡萄質島の擬大に同期したの間に進められてあた日頸質 一の水似主義による新郷定を轉封、供送してイク政府との間に指摘りたの間に進められてあた日頸質 一の水似主義による新郷定を轉封、供送してイク政府との間に指摘りたの間に進められてあた日頸質 一の水似主義による新郷定を轉封、供送してイク政府との間に指摘しても助出に乗るに置いて、この特別を持ち、この短用園間に吹く春見一致をみかれた。

政府の起車にかいる小数民族法案

の最を表してゐる(

【ロンドン山一日回版】チェッコ

に上程さる チェツコ議會

> 正式訪問ラスに決した記 に勝じ明年始めてギリスを 銀にイギリス皇帝の御州部ニケを競技、ルブラン大統 ソス政府は二十一日コミュ

ルブラン大統領に英國問題 たほフランス官及では、 リス島帝の神动物に別様 だ近け、英徳神民主闘宗心

は雇々近くチェッコ職会に提出さ

|学のドイツよりの紀人日本のド||られるとになる複数である、これ||つた||学り記代の日類対象拠点回を||東に関する関電を束着大便和競せ、8に至り近く燃発解析の選びとなる。

囂 總 動 員 中 央 聯 盟

日獨貿易協定交涉

感軌道に乗る

機械、米内剛相とり中北支に於け今後の関係につき機器し、女いに

聞する外変変態の根告記った後、

鍋に生後に除する方首相信即に 「甲氧化粧」二十二日の定例五相

定例五相會議

明年英國を訪問 ブラン大統領

資、宇端外担より銀版棒事件に

常的症について傾消し、阿三昭過

小數民族法案

る戦局について報告があり間面の

近く細目締結の運び

ら緊急省議立開き、池田商相、村廟次官以 「東京電話」 商工者では二十一日午後三時か

・ 員会 (電視) を検査することに改定した、より員会 (電視) を検査することに改定した。より 韓菜 野菓 を 自合の 新設に より 韓菜 野菓

京びを終します。各國も演別國 京びを終します。各國も演別國 心理にないと思ひますの

中小商工業者指導に

轉業委員會靈設置

商工省で立案に着手

英、佛、獨、伊四國間の調停を招れによりズデーテン問題に到する

の目的に異たものと影響|鞭音に

・ジ政府の脱損になるもので、こ。ギリス政権では右衛曹提出は下

府の注意を喚起した

指なる冒強調して英國政 肝改革に関する音楽の要 送りズデーテンドイツ地 行政動員計選の代慮に作び

にあっては、政 る事態 け許さる べき でけなが、吸腔熱症にあつてはから

会、失いて漢紫蟾食に作用が野科取締合に作年の既明議 の安定を開らればたられる

し既い。阿比の便関心に思へ 以てしては、所郷の月的に造 に知得せなるべからないな形勢 をもつて、自らの生活を最初 におして よう。阿民が臥薪谷間の豊倍に肥力も種種であったと聞へ で、禿蟹的に 勢價の 直接関係まるものの異に局限 迎が残されてむり、それだけ れたかたちとなってるたの

ると聞いる法の指野で十二分 間しみ、質預めに對する形 包含され、取締品目も関節 の排足が数として示されたこ たり、更に之に加ふるに 今回の改正によりな報品も

のである。 そこに大きた戦後も個人得る あるが故た之を題過する特果 如してゐるのではたく、 行動を敢てする者は稀であ し難いのである。 愛図心が缺 いたるの 勿論から る非國民的 器利取締合の強化にな てよい。かくて取締はみ 解基調の動揺を未然に ・剪示するに至ったこ

强されたのであるが、電波に

産品販賣には特例が設け の適用に當っては候飯有も このを黙であって へきは、歴、音、木産業者の と飛躍せしめるであら

民の生活安定に一つの指導が /及ぼされ日常生活品も 、物価総質によつご

### 受國邦群民 物産見本市。をひらく

もこれに登司。この動物的施設を「下京郷、全北、鹿商の管装者並に」と表別:マく於紹介後に注言一十大成郷を扱めての名が、本唐有局。既に本府商工部総持制申記・民以「別」に照する独音群の報送的支援 來連日六萬人以上の登録者に及ぶ 主理一変國籍婦大展競技」は初日 【東京支社解】中京高島所の本社 デバート並に質認者五百餘名をサ三日から三日間東京構造の各 一大見本市を開催すべく一次見本市を開催すべく

子京族、全北、**摩**南 3 位表者並に 子京族、全北、摩南 3 位表者並に

選家並に朝鮮人有力者出土九名

門をその事業原命について説明が

京、階級の映像を発了した(官員)

相花尼約 湖洲國で

【奉天文恩教】諸部時でに紹入は「皐に差すすることとだった 組合を結成 省員長こし) 奇及的連かに 松海海機長

技術家予業生を 公平に配置

者が南風し、各事報解れでに苦しに中島各地に内地以上に各種控告 阿伽川県に南の岩庫、北工業が川一正の情勢ではこれらいるに 心の機能を行ってある現状に違う。 行はむ。それでも人の不足から在一てふる まされに顕骨に技術者の単語物が一秋田野方面に珍轉うてこと、た 愈よ本府で乗り出す 時的措配として野談解下いる。 うることが困難なたに、首分に

金融情勢から短期的軍士券の「東京智」民間会話案者には を無望しているが、大松子 類似 に次の見地からこと は時期尚早

、各倉職に公平配置する方針を

に對し、本府が積極的に乗り

専開会を開いた

性質があるので、野來は患務可問題は本府思辞局と共同す

製員を押する歌味から祈約案の就

野原課で中島重雑の風滑でる

(一)理定の銀行の公債保有高

並に既實實識を調査せ 能力、生虚智能(能通三年以降 たものから逐次組合を結成で 七月以降風椒の酢粉な停止する古

創立を支援東亞産業の **禮無勘株式會** 

朝鮮到支貿易の中機機関として生 れる東西の発気は(資本会二百萬 且午後朝鮮ホアルに正紀行力武 側と懇談會 芸会計制性が確認行(望度) w 

本所が

孫院金堤出弘所

商業登記公告

而远来回言:###E **孫避金堤出張所** 

金野口商會

短期融通證券

朝鮮點船定期仁川出帆

で中間く野員し、勝門に良

本石油

九州郵船出帆廣告

が大する方針であるが、その 中日空衛班,三十四萬十日十 リットルを明年三月末までにな (三月末)の内地鹿油前廿八萬キ

**今……大阪短期引助**组化 夕刊後の市況

井田、小国、建仮の四銭馬三中

一萬キロの母重に秋田縣八衢。

惠殿 日本石油では 昨年皮

更なしとしてしる

として管面に無規能を持ち 面して大概事務が局では形形は別

産に着手 六萬キロ増

◆……横濱庄未設引

**全三** 先

語

これは これは 君たちは は 要りますか:)
は 要りますか:)
な 要りますか:)
な 要りますか:)
な 要りますか:) ですか、迷惑。

宮内省御用選味の素本にいい。 商 Œ

監査岡田弘(鐵道)▲主將金□左の通り決定した

れる立戦大學招應立戦對全京域十三日(土)午後二時より築行 制成度球大会に出場の京城代表

であるに反して金正にトラ」 し助走のスピード も相常あるが に接触に優秀 定身敷の粒削で長。 がであるに反して金正にトラ」 し助走のスピード も相常あるが にない、一般では、かったのだ、培 がであるに反して金正にトラ」 し助走のスピード も相常あるが にない。 ◆走幅路の中村 (京師) は墨年刊

**永顕(堀林)の一跡打ちけこの日、賑でかさである** ある。顕巍の金鳳根(紫正)と安 州中、京工十五校で前半。

豆城側代表選手決定 

(食事) 本類色(同)と指摘、体験に戻て川行首結より實力に設有が、事業等(同)と指摘、事業等(同)と指摘、事業等(同)とは、文字向全國高校大会と二年第(同)を加坡(同)は指摘、事實)を開き(同)は為「抗難に戻て川行首結より實力に設有が、事實)を創せ、 京 砂中三片游森鹿長村之原 砂中三片游森鹿長村

龍中敗る

朝鮮一次豫選全國中等野球

けふのスポーツ

職員に召り立教大學軍の全

経度球果の低に誠に座貨に告へ

の事の出來た事は罷進途上にある

今回一日本学生就就現の 一を開催に照へ

立教卓球軍全貌

6唯一の機合としてその成果を注

培材・養正の爭覇か

畓 女

京商勝つ

中部機理形二試合東神母東南に廿大朝主催全國中部野球朝鮮第一次 一、金三四也 光山府展岸連一/ 一、金三四也 光山府展岸連一/ 三

神田・鍋町三ノ三〇、育生社) 豊野の一つ(二圓五十銭、東京 知識が跳述されてゐる、菩薩加工ントの設計など、牛乳度理の質問

> 珠算 珠算

髓 店

除法 除問題

解說四時的表面

乘

集館・駅の一部・公園

菡

璟

算 翻六路 一四〇元

掛人員二百名を敷へた事は依然**陸** しい。從つて射校的氣分け此態ら 違りで却つて切られやう、投機に

を却けんとしてゐる。 一般に会 最みを示し巻正の金、率の0

**最中にあるため、主催者の労働と「殲滅家仕に放て他の暴友より以上」数の塩柱取が業、卒(重)の一度」ある。猶たに立ては薬正が乾化する中等歴技の殲滅家仕の「性へ丸が、日頃鍛へた身體を以て「赤せば 兵理際できず(第) 臭、 あるがた 作の不振は救に日立って四日に問帳される、常日は拾かる」手能者に對しては誠に従某の歌に「縁、高いを持した薬正宗が優繁を「獨も二、三年前に比して落ち員で** | 掘も二、三年前に比して落ち具で あるが、槍の不振は特に目立って 正、培林の母聯なる事に誤りはて 於ける豫想は殆ど不可能である。 からうが、此趣繁年黄金時代を形

例年より期を早めて七月二十三、

左右する第五回全種中等大会が「き上談の如く決定した。縄つて地」正、塔林の在窓だる伊野とたらう『全国中等。「大字の群博」事等より他に期日なきため充領権。(一章(第十七説以上)に於ては変

方に於ること、三校の出場不能の選

一様、高いを描した登正院が優勢を

神短距離に かでをま

對校大會を迎へて

鈴

木靜

支

店

西西田遊

所所

②全國中等大会が八月上旬にある「学に於ても労働者仕の意義を特に」の兩階概を挟んで火の用と

に数暑の労働に耐へ得るものとし

整献 金

**牛、朝鲜日報講堂** 同會代表選手選拔大會午後七時

六千壹百九拾七萬圓 明治武指八年拾成月

廿三、四兩日京城運動場で

ンター

府內德語等常高等小學校

一、金拾圓雲拾五錢也 府內許光町背光勘院見前

**婚酒粉** 力小角

"月 角砂

累計一金四萬八干五十

市乳の處理(里正義著)市販の

資本易·簡便·圖解本位

Ė

習

知らなくろや話にならないさ…… 対ット待つた林芙美子の本営の 数させたが、此時一偶に聲あり がとせたが、此時一偶に聲あり ではいる かんだが、此時一偶に聲あり がんて咄嗟に林芙美子の味さと信

▲北平(七月線)十七銭、東京・
品川・東大崎三ノ二三三、北半時

小說集(全八卷) 林芙美子長篇

The state of the s

金

積立繰越金 零百八拾六萬圓 **壹于萬圓(全額拂込濟)** 

本 社 東京市日本橋區兜町一丁目 證券株式會社

京城、竊岡、廣局、礼穀、髀戸、橫濱大阪、名古壁、岡西、新湯、濱松、京都

(1)

作用!

ーサナりこんで拭きとるだけ っなない。毛穴の異深くにある垢 っなない。毛穴の異深くにある垢 やヨゴレまでもスッキリと綺麗 に落ちます。

(ういけんりしん (2)榮養クリームの の作用! 

- 用色タリンシンで洗顔します。 と、私化粧下なしに、スグに水 と、また粉り粉をつけても、さた粉り粉をつけても、さた粉り粉をつけても、どのお化粧下を使ったよりも一層美しいツヤのある。 お化粧下が出来ます。

最 シ 近 ン 美容 流行 法 0)

歐

米 IJ とても美しくなる で ン

人浴禁容法





間がたつ程一層 美しさを増す!

似子に素晴しい新工夫!

▲「複合粒子」の自粉は何故特別に美しく附くかー

で、この間が競争な「複合様子」の作用によるのです。 できの歌はキャが細い解説、と言はれたものですが、不思報なくらめおの歌楽は良い事、また別けてから瞬間が部つ程「稲美しさを増す等々の素萌しい化粧が楽し良い事、また別けてから時間が部つ程「稲美しさを増す等々の素萌しい化粧が楽し良い事、不思報な、財色経過数、対している。

3**—11**15

湿肌白 肌色色色

置・八つ 送料・〇九三六判本装 二七〇頁

乙和

皆クリンシンです 歐米婦人の洗顔は

お顔か見違へる程美しくなる!

ク

睡眠美容法

ツバカな典他

健康美

カスは 療法で

の可憐な戦士が大馬と共に如何に

**不**足

やさしい鳩の育て方・殖し方・【上】

◆飼育: 何音の第一音手

夏の胃アトニー症

療法はよく咀嚼すること

い。ことに食事の時間を規律正

それから温受的法といふのけ電 と言ったインシュニンの世界としてむやみに復せて行く人は、 ・に對するマクサービ

【第十局】

を含の一隅に常惟します、これは一赤柳土、煉瓦粉末、石膏、合照) 有能である(四部博士日野三郎)

が推督業品の関節作用を含す

であります、

六段

飯塚勘一

ませんか、 またよい注射薬はあり せらか、 またよい注射薬はあり 乳が大きい

三浦病院長

乳房の異狀

脚の指風に従って悪質に御加焼

ドニ

最近高周波美額術

サラリーマンはよく三、四日の

戻し、質面の小板汚點、ソス内に耐給して皮膚の苦っを取

と経度、木戸で確された開屋が活

しかけるのだ、足を踏まれて怒人の足が一斉に出口へ出口へと

チョット グリロフ ハシルカラ 脂臭器 竹內 佐州







DIOCEMAR UNESS

包装(光) 脏

京城府岡崎町七 電竜山五八〇番 医学博士 橋本 吉 菰

術を既行して贈って來たので

歴ばついこの間。中文 北支

失歌り観樂的なものであつてが 門間つ使い質物は消散ではな

ド・ニッサン王 ・ブ・ニッサン日

進星

BM137

東京。芝。日産館

日 本

油

脂

株

式

會 疝

助川啓四郎

打ってつけの娛樂讀物

非常時下に於ける

話

စ စ 賣 品 行質

洗

可都太久府區東市版大 靈 光 和 會採 町造銀區田碑市京東

产人以后的证明

将が使る中が出来ます。 発が使で容易に過談自由の重 設定保額を含み発酵形式、調

レオスメールはピキタミンや

治療法と

せられて居ります

新くすると胃腸の具合を 整へ大槌丈夫に育ちます

常識として小兒科に推奨

見本説即否治呈

各校別勤勞報國隊結成式

直ちに奉仕作業

職員はこめ漬州中島校、四母校、

郡校、第一高女の四校生徒一

を開始した、また各校三年以下生 職職へとそれと、元気が別として

進致、翌世二日から汗の敵勢作業

聖華大に銀行、金知事以下諮詢係、里が続了事場へ、高女は並和宗欽一日十前八時中から清州時配で戲」は指倉が続了事場へ商業校は王城

らかに英級三朝を阿九時年附式、 官、廿七日吉岡内務部長 の報酬繁唱、金領事の發起で高 本清製(玉山)廿五日要飾寺親郡官 林課長、廿日寒師寺親郡官

の體位の向上を置りまた「朝有事」逐信局長から完一組で貢献として「春川」非常聴下に扱ける軽彩官「成紙に余郎を通じ倭兵で本月中に

完山 変男と用法に包まれ

こった元山地方してつと

地た之形間、平域、金化、瞬時、

この弊風を除去し関家の闘性を増

容能者の力強い宣都がありな同臣 の歌歌的調示、回報兩樣員代表代

|兵に對し默瞭を探げ火いで金海軍||左付並指導本面の指導日報に左の||開金員合概し転開管階、技能・造||昭・金海軍部書表頭の後、取經路||層重爆内代の他で觀察率住を實施||に配付するけか入月||日から||感

五日小野寺技師。廿七日古江山本語中(精倉)廿四日定知事。廿

路等の整理、修築工事を行ふはす

簡保好 成績

警官の水泳講習

「利州 清州局の十二年医保険事

ちかく表彰

【在川】江泉江特産品コーである | 職大に伴い献大職者・従来に行時

事に生業化するに至り関途に随る 人の家内手工業の鍵を関して、

生産品の販資に至っては徒らに仲 重要限されてゐるか、一方これか はじめて今秋から

江原道五郡で實

その足で作業場へ大行進

**英雄で民雄士用郡市立行ふしてい** 日午後四時から一時間転突旋し更担縁は水産戦岩下抄手、本月中毎 熟心にパチャーしゃってらる、

> と超力の脳領であると小林局長以 邑民の斯梁制度に對する深き理解一萬六千八百十

一十銭の名 一十銭の名

阿し非常に駆逐しますま

翻せらる、非常時局下に同局がこ

草販資所における本字四月から六紫煙景 類 【永阿】 鞭盟領

から太月本まで麻布の共同販資を

日校別勤労報図録の特成式は世 醍醐すべく忠北道内各男女中

上土地々しくも単便の意気を

仁川】府内の各小學校では廿一

仁川の各校生徒も一齊に邁進

一等の職等作業を行ふける題日軍 果行されたが、一腮粉二十名十二式は廿一日午前七時から同校庭 各家庭を訪問、家事の手傷しい 馬機、乾散作り 八月一日から正古明紀

**狐した府営局では建安がご通しで給水作業に願命** 

魚施設を行ったが愈よ既水一非崩に迫った版

は趣旨の現化能配を期するその理解学の猛省を促してふるが 育園)が節間ごれる旨を表示



それでもなけ、初節単校見論ご妻 歌詩ける早蛇の歌に撒く彼のご來た 押

につな明朝に一きけこの限りに非子)する方動 各校長に嚴重通

膝を變した、兎も角もこれで在節期立この服各患校長宛に厳重と通

早婚防止にやつきの江原道

部して必る者未だ相なあり、江峰 | 生の薬療者は今後五年を開てする。 近め御郷の関金によると人見流機 | 韓見られないことになる課である。 「こと」という。



け本年に時局極ブール行き自動 【张川】

に置り左の通り臨時消滅法を施行

兵れには、日頃の発生と数出 が必要である。 何れとしても推奨に探む人は、

しては、一時的の姑息な歌年 脱製である。而してその治療法

驅梅內服療法

薬の選定が必要で、 きは其の優秀な幕権専門連とし とされてゐる。勿論てれには内服 で、學院に致いても一方の持論

○本原高要生養型素行

既能者は趙封入斯を許可していめ、を促してゐる、とりわけ一人が五。ケ所、合計三百三十一ケ所の試見、信局ではこれが謝止難として今代。行権力節数を鞭撻。ると此に實行。百十七ヶ所、赵人應總書:百十四、

を掘止(個し機役長の許可参くとしても年に一両一子ガロン(八子八)一両一子日を開新して七子七百六分でなくまた在學生の概念、議職「ガロンの施勲を子れに開食事だけ」所を開ばし六百四十九回、韓日敷

生産化し農村扱興の武器を緊接す

【無視】患北道では個人の努力を一

十四名の見動を収容、保財三百六

十八名、助手四百四十三名 (以上

造し、また中毎最後では平均、調査十七名(二分二厘)= 既和上に

料番園……京茶碗道茶川支店では【茶川】職時下の銭後ガソリン節

ガソリン節約報國

移入種子の選別

- 昨今の緑田へ毎日の如く数十石

のんさ川石

·讃自酓自

四方の総景夢見る心地

成北國境の秘境三池淵

或

軽には四つ) があるところか

てある。下は真白いよの説、

長が三池湖の池の中島で野社

(歴大鹿が二頭水を飲んで

く天下の絶景だ、石用野谷深

白菜の種子が開始

今年は三百三十一ケ所を開設 と農村託見所 七千餘の見童を收 古昌の五ケ郷に對し來る八目下旬「常町、高麗の五公立小學校と取る 川の浮浪少年 **差當つて五十名を** 更生館に収容指導 聴家の金積遠巡査が府と協力のた 仁川器から巡査無命以來七ヶ年一 あつて割高取引を見てふる 元山渡し石十四五十銭に封し本年 め跳躍されることになった は釜山渡し十四国で時間の反映も 【铜娥】公立常高、满月、元町、 開城小學校長會議 |制の夜柳町 | 月三日午前八時五十九分歸夜 を蒸し殺したが 精 人遂に判明せず ▲成果智氏(清州郡虚蒙技等 ▲果永健氏(阿)阿上 ●果永健氏(阿)阿上 [七川] 戦物戦會では去る十七日 平純投管業課長)就任挨拶のたろ村が採氏(中央清意株式食融 仁川聯盟へ五百圓 満州明皇廷プー いよりくける開場

一銭、同数券(十枚)三十年一六歳末浦江馬料、入場券は一大銀本浦江馬料、入場券は八十枚)三十年 ことにたった(午前十時から年後 【前州】何加選復盟の明岩堤ブ 廿三日から開場で

のある時は、先づ血液検査或に発

家の存鉱網の他、骨ずる種等基礎 毒、或は晩期梅毒となり、保養 遂に取りか ので、病薬は不知不識の間に進み 當をしたり、經聊放任したりする を秘密に罪らうとして、姑息だ手 脱に握罪処者は、己れの別罪

機能に描きればなられる。殊に

私とも云はれ、特に初起の候! は、単の如く命を資金報経証の い此の種の急病には、充分な難能 根据他の動脈硬化磁や高能

奏女

・ 中 河城二十五、七歳末 中 河城二十五、七歳末









# **夏四、好香敦、松都、中京、小學**

松底砂、巻永路が三課長、高橋川午後二時から府職で府小野内砂、 一、清牧節約の徹底▲文譽の鳥理されたが指示権項目左の六項目 書列席、宋府尹統武の下に

質三面以上の地震

選手者収をみつくあるライ変に 参用】北部高島地震立好透地。 定施行▲政職員改業▲問語の表

共価整理全校、通过、可形数社会 関手四種送い、 案内書送最 検星際八百兆明(毎 111三) 帝國神 鑑學・曾本部

霊術驅熱性

八仕の具文

政の新築期仕人は今は

ライ麥共販

独型され、なけ價格に最ては昨年一て▲【清州】思北近では來る中 び宮田鹿谷に夏買駆殺を締結した が、本所田曜り設量は数三千石と 各職一類に共同観覧を開始するこ とにたり、釜田府大松醴道場およ し江原道では來る人目十日から を 本が創益等につき指示性証を がの意確、火入れ及び放火の た。法院支置標準は薬林金に関す に、法院支置標準は薬林金に関す あの町この町

物語は身を亡し家を亡し図を亡す。 極端の悪化再受け治療の他置から起る

正しき要称に使り正しき治療をとし。 卵なき子孫に指揮をうつけなる

指揮を軽視するは死を早めるにする 病毒の治療は最後まで難行せよ。

**印**有名な

130

の不知内型 選元 大 駅 型 車 車 日

質の無限健康器を張け。 身を守れ家を守れ國を守れ

婦人阴講習會 た。既になって病患者の最も困る一細胞組織や内臓にも好結果を及ぼ のは、微組織がゆるる、抗毒

能能の気機を助き、且つ快盛に郷

勿論抵抗力を强力するので、

て血行や代謝機能が配鑑となり

如く生命を

類の理動

卸造製器樂種各

樹フ東洋 — !! 樹フ東洋 — !! キモリンペ 乾珠 ハーマンドリカン ローター !!

(ラツバ製造見皆募集)

東京本曾 和/屋樂器/店 大阪市州區日本経門丁目

1川7 仁川野管内の浮浪少年は あるが称三百名でら

肉細胞と、何れも病的の聲調を起 保存者は、血液を始く、内臓、統 願くなる事である。特に権程置の の脚節に使いて充分に豊内山病権 仁陥り易いのである。それ故、こ し病物の進行進が速く、熱も重顔 抗毒力が弱って行く、健っ 捨さい加らるに

恐れがある。一日も早く りは徹底的でなければ必 が、此の

の日間

て、完全器権原法を質

型で市用年町(無質局東海) 服 で、一般の方に皮膚をごられて火味と で、一般の方に皮膚をごられて火味と で、一般の方に皮膚をごられて火味と

好評

6

える

+

花柳病

門橫人

求

の神士(前記の方は散映客機管) 人 外がに自信ある市内 路 路 産

飛として理想的である。 家庭常備の薬

金身がたるく、貴節の確立、仕事便物質が観ぎ、始終熱気を持つて 日常頭痛、眩暈、不眠、 高血腔、一日常頭痛、眩暈、不眠、 高血腔、一 職者の雖方もが、期後に反か以民 の効果を繋ばれてるます。 體験者から此

梅毒患者の

| 化症、高血胆が膨大快盛に弾かれ 便秘で苦しんだ優がよくなつ ◆ベルッ丸 を服用してから、吹 本の製作職権専門聖であれてきる機を熟めにする。 は北神病度膨進動上 は北神病度膨進動上 

は、直端本館鈴木日本製 は念國有名頭店で百

備语やお手概を各方面の方からび

て來た等々

お歌やらお喜びやらの





步

馬

特別案內

馬力四十五七里一デーハゼ音楽勝古中町一二十四番

男子及女子

女給仕員募集

日磐一瞬順致全市雨太空千興本場 來茲 ボアグラン



胃腸の機能が極度に衰へるこの頃は

胃腸障害を起し易いものであ から特にこの季節の攝生が大 が、平素から餘り胃腸の丈夫 から榮養が衰へ、目立つて夏 や慢性症狀のある方なごは、 食慾不振 でないが ります 切であります。 痩せします ごかく

ビール、サイダー、アイスク 暑いからご言つて、望みの まっに氷や果物 リーム……ご無

チブス等の傳染病にも胃され ます。衰弱が加はれば抵抗力も鈍りますから。赤痢や膨 問に冷いものを詰め込めば、 しのつかぬ不幸を見ないこも 痛に惱まされ、一層痼疾を悪 限りません。 易く、僅かな油斷から収返 化させるやうなものであり それこそできめん下痢、腹

アイフだけは常備してゐて悪疫の侵入を未然に防ぐのが 夏の衛生常識でなくてはなり こが何より大切であります。 等、急性胃腸カタルの誘因ごなるやうな不攝生を愼むこ 暴食、不消化物、腐敗した食 を服用して慢性的な胃腸病の に胃されても、慌てるここなく治療し得るやう、治療薬 それでかうした胃腸の非常 叉、たさひ急性胃腸カタル 物、過冷の飲食物、寢冷え 治療に努めるこ共に、暴飲 時には、まづ治療薬アイフ ません。

**臨管内の有毒物質を吸着して體外に排泄する等、廣汎な** は打つてつけの治療薬として 消退して機能の恢復を速めますから、夏の急性胃腸病に 弛緩を引緊め、分泌や運動機能 病源治療を營み、併せて、胸やけ、噯氣、惡心、胃痛、 が胃腸内壁の病變部に沈着して炎症を癒し、粘膜を强め 治療薬アイフには病源、對 能の異常を整へるとともに 症二重の作用があり、主薬 賞用せられます。 食慾不振等の諸症狀をも

●重症には特型アイフ・便秘症には加減アイフ・実行。八日分 一回五十歳 特製十一日分 五 回雲(間 四日分 七十五歳)十七日分 三 回

▼全國到る所の有名薬店にあり▲

賣本舗 大阪市東區清水谷西之町

發

大連 我替太班三七大天司 母 器七大〇又 零

東京 線響東京大二二大大学 智慧 (ネ石川) 800 一〇巻編巻代東三郎五巻 韓漢(東)天〇〇〇・元〇〇1・元〇〇 3 地 町 九 番 地 岡 高 砂 町 九 番 地

水井遞相、口を極めて激賞す

満都の人氣總ざらひ

一貫い形の楽会に確く感動し、著人一選へた観光殿では甘蔗知事の意味。 せてあるが、南郷質は勇生、生徒の一名ことになった、髪天下に物質を

MICHALLA CHARLA SANCA CHARLA CHARLA

下机もしい読者段戦の題を耀脚さ、立中が校生徒と解解。関解を異べ、同り費重品、ゴルフ証具等を購入し、の揺め来会。を申し合せ数実、を実践別行してある意識の各公園、このを利用してこの他に主数国に生々能は一然に確務性関係を組成。て他国和兵場の地角しに確務後国。に断定男が同事動所に気にたてより生く後は一然に確務性関係を組成。て他国和兵場の地角しに確務後国。に断定男が同事動所に気にたてよ

異し、と時間の縁合に登場したが

なり、近く北部技師が鍵を追つて

方法につき武騎闘者を行ふことと「で取引され、一日一人三十四は夢」 節世青年服費

れるので優に探算がとれてもるの

朝鮮沿岸には無盡藏

姚朝:漁獲一四三則五十穀位の仲 関する日も近いだらう が生命危護原歴は戦性と判明 姚明:漁獲一四三則五十穀位の仲 国する日も近いだらう 人であるのを来入か彼見字常した 越くととたつた、現在突破地方は 国する日も近いだらう 人であるのを来入か彼見字常した 地名せた海豚の副常に北部地方に

|報からの度の確時大祭に際し

とを無上の光楽とし廿二日能成大 夫に歐八郎の戦争を聴しりたると 「精明神歌に全親を許され且つ亡」

最話】 過ぐる昭和す一年の | 徳君の妻女養養漢さんに遺族とし | で非四世民智詞相和 (海中かげ)

を力強く合唱し、元和よく観長場 の本分を果すことになった

**心事に決定した、これで余醇で名** 

から名称入り通信日替取を使用す

靖國神社に合祀された勇士の

遺族から陸相へ謝状

川耶宜用島川北朔五ノ一巻盆「寄せ當局を密朗させた独乱に合配された朝鮮平安北」同境認明の漢を以てお経の手載を

學校報國隊を

少年の盗み

白来りを學ど

激勵に出馬

けふ府内各所へ

## 就十八號位の支那人首年が希鏡を 政府基高級にあったものでは、通行中の支那人の背後から突如年 の結果拡張者に常携者という また上海にテロ事件

## 拳銃で射殺

皇軍の手入れも届いて

**党廟に新風景** 

ひ毎日散馬の観客が夏野してら 四が沸騰してゐる

東京支社特徵「本計字個发經期群

一川を中心に

「臨汾にて中川特派員」はたい、かつての帝の都に大角蝦がある。華でから真文化は大田県ではよった。「既のの事から一里はど暇れたとこうだ」が吹かるとは連続なって思った。「した、検索の結果真体コレラと母、関係一氏は上二日二女弘子さんの歌の市から一里はど暇れたとことにつたいことだったらう、認念。」と称では去る四月以来はに三千一同時報全に告託した。「一人」では大田県を動れ上側をいるのでは、「一人」では大田県を動れ上側でいるのでは、「一人」では大田県を動れ上側でいるのでは、「一人」では、「」は、「一人」では、「」」では、「一人」では、「一人

水害へ見舞金

数長老師の平里素質女學校女「同地志育教徒の水忠への聞心が趣」

漁船四隻行方不明

ソ聯警備船に拿捕されたか

京畿道で萬全を期す **別、船舶の接投等に基金を関し** 事が判明した、程立その他の版を一部を除いてまづけ模倣明けといった。 始めての掌握事件として極めて重 左承珠所有朝朝頼漁船に仕入(汽」三十四波二(華氏九十三度六)と 「今年は珍しくとう提展祖父維前位語)鄭興福受派面安派副「りつけられて廿二日の京城に残滅してもよからも京城海鉄邦では いる例年に比べると互應六高く六

金属専門に

昇る水銀柱

自然發火から さく夜櫻井町の火事

がフサルム一巻を空石油織に入 四、おが友強の家から買って來た



るに京城府内には資金版路底が縦一航縦してるる事を突止め、件の行(主狐伊)

はいいない

鮮かな作業ぶり 龍山水防團の築湿演習

『日午後』、時から前山水路

島図臣民の智調 図 歌歌

『十七日來の愛用のため選江 長から職職と用手に使ける水山署長、金 保安 主任等 魔郎 りを見せた、終って高野経郎 **泰院部長線在港部館、加藤館 交換下に錚やかた架板作成に出川奈橋附近で高京麓道 網際長以下百六十木院暦** 個院長以下百六十本時間員は 響るべし』との想定を興へ時 轉向者大會 時局對應の

らなる時局對應金鮮韓向者指盤大た金餅思想轉向者代表二百餘名か

聖権映画の紛争事件

Ty.

**酸酸路線局弱址課內** 庄 7市内 關上和三方段 近可二丁目一九九所地自 廉章 څ اڅ 0

V 濃 V い良いみ飲 粒【グイタモンカ 門の〇間開章位

Cデバート・各間当にあり 設置元 萷



京日小學生新聞の贈る、お樂しみ、

七月廿四日 (日曜日)晝夜二回 【当れ 六時から】京城府民舘

(イ) ペラマウント漫高敷後 語 語 ひ 牧岩 江か 田本 顕

入場者は、本此からおといけずる食具然(一人一枚) おもち

は此處から再出後了えるの

擴張員募集

生(変型説明書を聖す) 介され废し 介され废し

**證**往來 货 長

第一次 100 年本 100 日本 100 

· **以** 

堂

を塗つて下さい。

冠 金原東元造製

店商置玉社會式株 店運代源

五二一五 曹 十 使 四回回转

+

本年五月末現在の少年観を把罪別 少年犯の調べ

| 大人族以上二十茂末浦が男九|| に調べて見る上左の通りである

 $I\!\![0]$ 

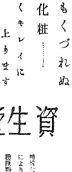
形 記 記

쉞

大人は「耳」三一四粒 一〇〇七人 一門五十組 物名は「耳」一一粒 三〇粒人 八十五 雌

東京市日本韓元末町三丁日 店

调昭和疏芬内 绒子良 丁月五二 帯地 宅島



お

濃 早

<

堂生 加へてあり 物原料に適 きすから により、白特殊な優作 共に申分な えなして

大一四十セン 五十五セン

兄弟のやらに心を許し合った部下 七日とは認たたい前の日の事、あ 道に機量を含んだ水器気の重なを (その一節) 安藤一郎・作

工具在是中田元邓「西部戰級景狀 ライトは殆ど同じ扮装のまい上海なし。に彼を浮上らせたスポット 李 静山田镇,代理店 静山海巡脊社 木前田镇,代理店 静山海巡脊社 木前田镇,代理店 里维克湖田城所 水前田镇,代理店 里维克米田城所 空前八四番 空由日朝,代理店 建加及养两食 位据四〇八五番 群山田帆 代理店 群

(三) 蘇州河のほとり

**て続なし支那人の兄と妹、兄の名と嫁改せるクリークの稿、幻と消え** 

クリークのほとりに繋れた死亡へ

城湖田帆 代理店 北鮮 南船和

水馴模巧にとりてクリークをゆき

切弁護質店へ簡単代型店及舎地 投鞭設御完備家代理店及舎地 関連の第二人の一個では では、小村 での一、小村

大會中部幾溫質及(第二裝置・大會中部幾溫質及(第二裝置・ [後六時] 柴田 秀子

もう位かないでいょの……とに

て休み中、鮮めな處でお母さ 一緒に悲してゐれば、必もお

۸. 0

(大) ミニージカルドラ

策建(京娱・図語)······京城球

日の九萬歳河村道則作曲

速い戦地の父さんが、攻めて落し た城の上、立てた日の丸この移員

てゐれば萬畿の、難はひろがる駒

地に赤く日の丸の、厥等の艇を兄部隊長、漢をふいてさる笑へ、自

鬃

一同じ掛所で銀げられたといよ兄弟 一て見る加難、鋭執らねときの心は

|特作々戦| が、戦の有力部隊並供 沙魚を釣ってるのは尚木、加藤の

いつも東京に残るのであった、坂一柳股こまでかに、聖風起って様々 せり、息紀二千五百九十八年五月 ゆるも悪軍の進むところ基々の戦 天山見前、長城峥嵘として雲に踏 度、後熱度は客下四十度の簡製高

西湖北田帆 酒用、船川、谐森、 電田 南介

(ホ)秋足群 高村光太郎・作

歌のおけいこ 思ひ、大なるもじるの朝を、今に を、枝えたる髪も鳴かで行のほの やすき夜のなかなかに永さおもひ み、いだづらに刀の郡を握りしめ、しくながめ且つ怒り且つはあはれ (へ) 臨済機群に立ちて数へる …立題で被方の岸の人かげを空

の史にもつると、ひとりわがおもの世のまぼろしながら、いにしへ けむ、魔を飾ひ、見つ、歌べば全よくうなづきもろともに強い起を

婦人の時間「神感歌抄」 級景歌兩三首 京城帝國大湛教授

ペに弓が機に雲たもわたる(柿本

ΙŻ

ځ

海 を越

え

節 Ŋ,

参り

まし

くきの間の他に浪だちわたる (三) 天きらひひがたふくらし木 (四)大海の水底とよ小立つ彼の

阿里の秘訣!

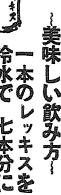
側北忠道で被聴迷ふ、或は百二十 B 水 行(金行)経日 午時大

**图** 鳴谷气船联出的

蛔虫の故じ さ診断され セッ 鉄州 一間 20 30 品校 1,00 75 十大 2,00 1,35 個人 無代送星 ルい蝦虫」 店商吉友海臨 社會式標 即門の日東東京 町田道區東市最大

名実共に日本一明るくで永くそう 同元い 三 大 株式會社 

は 懎 (1 噱 



溶かして召上れ令水で七本分に 甚だ經濟的/のびが利いて即ち 七倍に



(政策を強力)



商業登記公告 入借係 電話五九番 入借係 電話五九番

高杉商店回漕部

新聞作神教深存社(獨真)體流校 新聞作神教等中女人用故事/在 市期前了了度明本参考中,月参会日 布明和於参中七月拾世日春龍 方決時/安中七月拾世日春龍 方決時/安中七月拾世日春龍

のんでハチハキ應對

社會式株油醬田野

油醤ンマーフッキ